

平成 29 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

帯広畜産大学

平成 30 年 11 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料

・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル ・動物実験計画書（新規・変更・更新）・動物実験終了報告書 ・動物実験施設設置（新規・変更・更新）承認申請書・実験室設置（新規・変更・更新）承認申請書 ・施設等（動物実験施設・実験室）廃止届
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学遺伝子組換え実験等安全管理規程 ・国立大学法人帯広畜産大学毒物及び劇物取扱規程 ・その他安全管理を要する動物実験に関連する規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

5. 実験動物の飼養保管の体制

（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル

・動物実験施設設置（新規・変更・更新）承認申請書・実験室設置（新規・変更・更新）承認申請書 ・施設等（動物実験施設・実験室）廃止届 ・飼養保管施設・実験室チェックリスト ・動物実験施設承認一覧 ・実験室承認一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

・「国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程」では、適用範囲で定めている実験動物の他に加えて、生体由来材料等について届け出なければならない事項を別途定め、「届け出実験」として動物実験計画書の提出を求めている。（規程第 37 条及び第 38 条）

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル ・平成 29 年度動物実験委員会委員名簿 ・平成 29 年度動物実験員会議事要録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル ・平成 29 年度動物実験計画書（新規・変更・更新） ・平成 29 年度動物実験計画書一覧・平成 29 年度動物実験終了報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書で申請した使用動物数と終了報告書に記載の使用動物数について、相違の生じた事例が 4 件あった。 平成 29 年度動物実験終了報告書について、未提出があった。引き続き提出を求めている。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・計画書に記載の使用動物数に変更がある場合は、変更申請が必要である旨、教育訓練等で周知することとした。 ・平成 27 年度に判明した、申請手続きがなされず実験を行っていた事案、承認された動物実験計画書の内容と異なる内容で実施していた事案への対応として、再発防止策（動物実験計画書提出の周知徹底等、管理者に対する実験管理の徹底、学内実験動物管理の一元化）を定め、平成 30 年度から実施することとした。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル ・平成 29 年度動物実験計画書（新規・変更・更新）・平成 29 年度動物実験終了報告書 ・平成 29 年度各動物実験施設の運用についての自己点検・評価報告書 ・動物実験施設設置（新規・変更・更新）承認申請書・実験室設置（新規・変更・更新）承認申請書 ・その他安全管理を要する動物実験に関連する規程

・国立大学法人帯広畜産大学遺伝子組換え実験等安全管理規程 ・第二種使用等拡散防止措置確認申請書 ・第二種使用等拡散防止措置承認申請書 ・国立大学法人帯広畜産大学毒物及び劇物取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物による咬傷 5 件、動物アレルギー 3 件が発生した。傷、症状の程度は軽微であった。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験に係る事故発生時の対応について、引き続き、動物実験に関する教育訓練において指導、注意喚起を行っていく。

4. 実験動物の飼養保管状況

（実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・各動物実験施設標準操作手順書 ・平成 29 年度動物飼養保管数及び使用数報告 ・平成 29 年度各動物実験施設の運用についての自己点検・評価報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 ・平成 27 年度に判明した、承認を得ていない実験室でマウスを飼育していた事案への対応として、再発防止策（動物実験計画書提出の周知徹底等、管理者に対する実験管理の徹底、学内実験動物管理の一元化）を定め、平成 30 年度から実施することとした。

5. 施設等の維持管理の状況

（機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料

・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル ・動物実験施設設置（新規・変更・更新）承認申請書・実験室設置（新規・変更・更新）承認申請書 ・施設等（動物実験施設・実験室）廃止届 ・飼養保管施設・実験室チェックリスト ・動物実験施設承認一覧 ・実験室承認一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験施設（飼養保管施設）は、新規承認時および更新時に委員会により訪問調査を行い適切に管理されていることを確認している。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

6. 教育訓練の実施状況

（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程（平成 20 年 5 月 21 日規程第 21 号） ・帯広畜産大学動物実験等実施マニュアル ・動物実験に関する教育訓練資料 ・平成 29 年度教育訓練受講者一覧
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 問題無し
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料

・動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・帯広畜産大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成 23 年度より「国立大学法人帯広畜産大学動物実験等に関する規程」「国立大学法人帯広畜産大学動物実験委員会名簿」「動物実験教育訓練受講者数」「動物実験計画書申請件数」「実験動物飼養保管数および使用数報告」「動物実験に関する自己点検・評価報告書」を帯広畜産大学ホームページにて公開している。 また、「動物実験に関する検証結果報告書」を本学ホームページに公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載事項無し

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

--